

はじめに

1. 小委員会の設置とその後の活動

「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会」は、平成 19 年に教育企画・人材育成委員会の中に設置された小委員会であり、成熟したシビルエンジニア所謂シニア技術者の活性化方策について研究を行っている。

平成 19 年度、平成 20 年度の 2 年間の調査・研究の成果は「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会 平成 20 年度報告書」を発刊し報告している。更に平成 20 年 5 月に「成熟したシビルエンジニア、その活性化に、向けて」と、平成 21 年 5 月に「“NPO 活動” その多様な展開—シビルエンジニアに期待されること—」と題するシンポジウムを開催して小委員会の研究成果を報告すると共に基調講演に加えて NPO 法人の活動事例等を報告して頂いた。これらのシンポジウムで得られた知見は、平成 21 年度の研究活動に反映させてきたところである。

今回平成 21 年度の活動の取り纏めとして、「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会 平成 21 年度中間報告書」を発刊することになった。まだ研究成果として完結していないものもあるが、現時点までの成果をとり纏めたものである。

2. 平成 21 年度の活動

1) 3つのワーキンググループの活動

(1) 人材結合支援システム調査グループでは、成熟したシビルエンジニア向けの人材結合システムの研究をおこなってきたが、その研究成果を本中間報告書に記載している。その成果を踏まえて、4 月には土木学会技術推進機構にシニア会員へのサービス向上策として提言する予定である。

本グループではこれに加えてソーシャル・ビジネスに関する研究を行ってきた。

研究はまだ中間段階であるが現時点での研究成果を本中間報告書に記載している。

(2) NPO 調査研究グループでは、NPO の連携、ネットワーク化、土木学会の支援の可能性について研究すると共にアンケートを実施し、その集計と分析を行った。研究結果とアンケートの集計・分析を本中間報告書に記載している。

(3) 役割り企画検討グループでは、成熟したシビルエンジニア向けの新規事業を創造するためのマスタープランの作成が主たる研究であるが、これに加えて「土木学会への提言」を起草し、財政強化のためのアクションの一環として「成熟したシビルエンジニア(高齢技術者)会員の諸活動支援」として、会員サービス向上のアクションプランを作成して土木学会事務局に提案した。

本中間報告書には上記研究テーマの研究成果として「成熟したシビルエンジニアの活性化戦略の検討」を掲載している。

2) 土木学会への提言

公共事業の削減ばかりが叫ばれる中で、土木学会は20年、30年先を見越した社会基盤整備のマスタープランを作成し、広く社会に訴えるべきであるという提言を纏め教育企画・人材育成委員会(2010.1.20.)を通して、理事会(2010.1.22.)で説明する機会を得た。シンクタンク機能の立上げ等の提言の実施方策は企画委員会に付託されることになり、企画委員会幹事長他に引継ぎを完了したところである。

企画委員会は本件について、4月に小委員会かワーキンググループを立ち上げて検討を開始するとのことであるので、当小委員会の研究成果である前述の「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会 平成21年度中間報告書」を提供し、検討のたたき台にして頂くと共に新規小委員会等への当小委員会からの委員の派遣も考えていきたい。

3) 財政健全化アクションへの参加

会員サービス向上に「成熟したシビルエンジニア(シニア技術者)へのサービス」を追加すべきであると提案したものであり、シニア技術者が定年退職後も土木学会に残るメリットを提供しようとするものであり、シニア技術者の活性化と共に会員数の減少を少なくして、財政健全化の一助にしようとして提案したものである。

3. 本中間報告書の内容

本中間報告書は、前述の3つのワーキンググループの研究成果を現時点で纏めて、報告したものがある。目次は以下ようになっており、各ワーキンググループの研究成果を第1章から第4章に整理した。

1) はじめに

2) 第1章 土木学会が整備すべき人材結合支援システムのあり方

3) 第2章 建設系NPO法人活動の現況と連携に関する調査研究

4) 第3章 土木分野におけるソーシャル・ビジネスの調査研究

5) 第4章 成熟したシビルエンジニアの活性化戦略の検討

6) 第5章 今後の活動計画について

本中間報告書は、教育企画・人材育成委員会及び企画委員会の関係者に配布することを考えている。特に企画委員会でシンクタンク機能の立ち上げ等に向けて新たに立ち上げる小委員会またはワーキンググループで利用されることを願っている。

本小委員会の最終成果は「成熟したシビルエンジニア活性化小委員会 平成22年度報告書」として、平成23年3月に発刊する予定である。

4. 小委員会名簿

教育企画・人材育成委員会／成熟したシビルエンジニア活性化小委員会

平成 21 年度委員名簿

	氏名	所属	備考
委員長	内藤 堅一	パシフィックコンサルタンツ(株) 事業創造本部顧問	NPO
委員 GL	有岡 正樹	NPO 法人「社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会」理事長	NPO
委員	児玉 秀文	児玉企画代表	
委員	駒田 智久	(株)エイト日本技術開発 顧問	人材結合、NPO
委員	田中 則行	(株)エイト日本技術開発	人材結合
委員	辻田 満	NPO 法人シビルサポートネットワーク代表理事	NPO
委員	西村 隆司	日経BP社建設局編集委員	人材結合
委員	日比野 直彦	政策研究大学院大学 助教授	
委員	松本 健一	(株)建設技術研究所東京本社	NPO
委員	水谷 進	パシフィックコンサルタンツ(株) 品質技術本部長	NPO
委員	山崎 俊雄	南海カツマ(株) 東京支店技術部	役割り企画
委員	山下 正章	(株)長大内部統制室長	役割り企画
委員 GL	山田 孝治	日本工営(株) 中央研究所技師長	役割り企画
委員 GL	山登 武志	(株)建設技術研究所東京本社品質環境管理センター	人材結合
WG 委員	森 邦夫	森技術事務所	NPO
WG 委員	比奈地 信雄	NPO 法人 IT ステーション「市民と建設」	NPO

以上